

# 決算説明

2023年3月期  
第2四半期



2022年10月31日

 株式会社田中化学研究所

## (注意事項)

本資料に掲載されている田中化学研究所の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与える重要な要因としては、田中化学研究所の事業領域をとりまく経済情勢、市場における田中化学研究所の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において田中化学研究所が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

# 目次

1. 2023年3月期 第2四半期 決算ハイライト
2. 2023年3月期 第2四半期 決算トピックス
3. 製品別販売数量 前年同期との差異要因
4. 製品別販売数量Q毎推移
5. 主原料国際価格推移（円/kgベース）
6. Northvolt（ノースボルト）社に対する  
前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結
7. 営業利益 前年同期との差異要因
8. 営業外収支および特別損益
9. 比較貸借対照表
10. キャッシュ・フロー計算書
11. 今後の正極材料市場動向
12. 技術開発の方向性
13. 中期ビジョン
14. 2023年3月期 業績予想
15. 製品別販売数量予想

## 付属資料

16. 業績を見る注意点
17. 主原料国際価格推移  
（\$/LBベース）

# 1. 2023年3月期 第2四半期 決算ハイライト



金額：百万円	2021/9期	2022/9期	増減	増減率
売上高	19,439	30,052	+10,613	+55%
営業利益	620	1,822	+1,202	+194%
経常利益	587	1,646	+1,059	+180%
四半期純利益	497	1,494	+996	+200%
EPS (円)	15.29	45.94	+30.64	+200%
設備投資額	676	268	△407	△60%
減価償却費	780	950	+169	+22%
期末従業員数 (人)	333	342	+9	+3%

## 2. 2023年3月期 第2四半期 決算トピックス

### ● 販売数量は前年同期比 $\Delta$ 7.8%

- ・ リチウムイオン電池向け車載用途  $\Delta$  7.2%  
顧客ごとの販売数量の増減が影響
- ・ ニッケル水素電池向け車載用途  $\Delta$  10.2 %  
世界的な半導体や部品不足による自動車減産の影響で主要顧客からの受注が減少

### ● 主原料相場

- ・ ニッケル相場・コバルト相場共依然として高い水準で推移
- ・ 相場関連損益 16億円

### ● コスト上昇

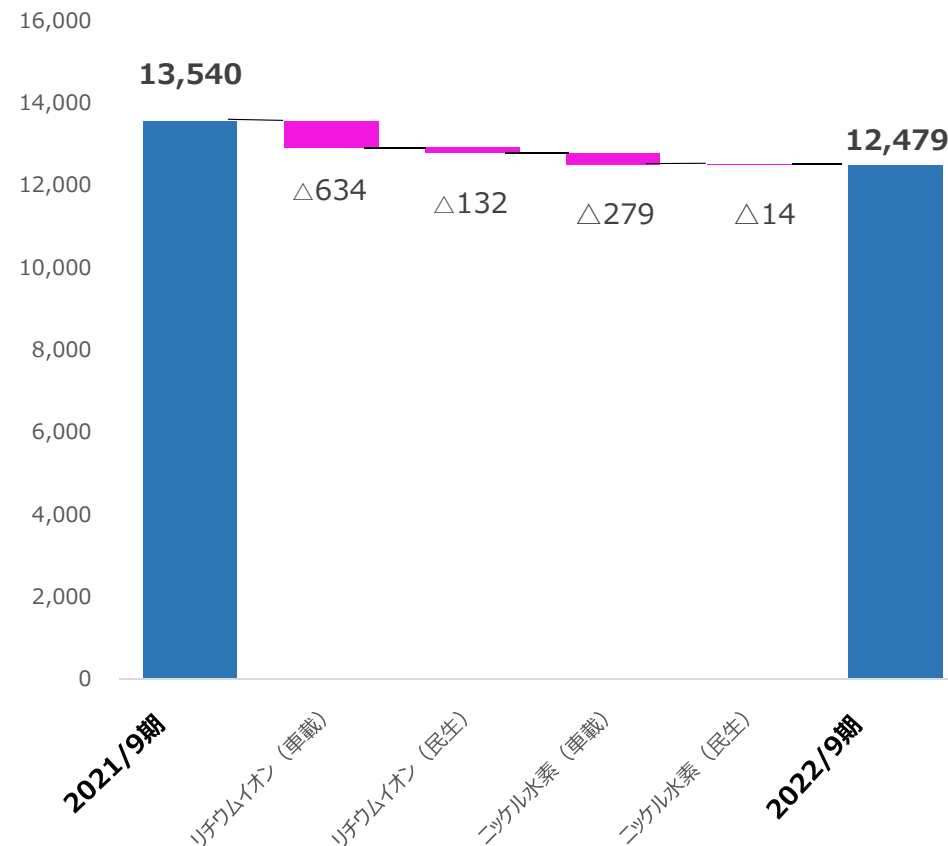
- ・ 中期的な増産に向けた  
新規設備稼働にともなう減価償却費の増加  
組織人員体制強化による労務費の増加
- ・ 苛性ソーダをはじめ各種原材料等の価格上昇や電気料金の高騰

### ● Northvolt (ノースボルト) 社に対する前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約

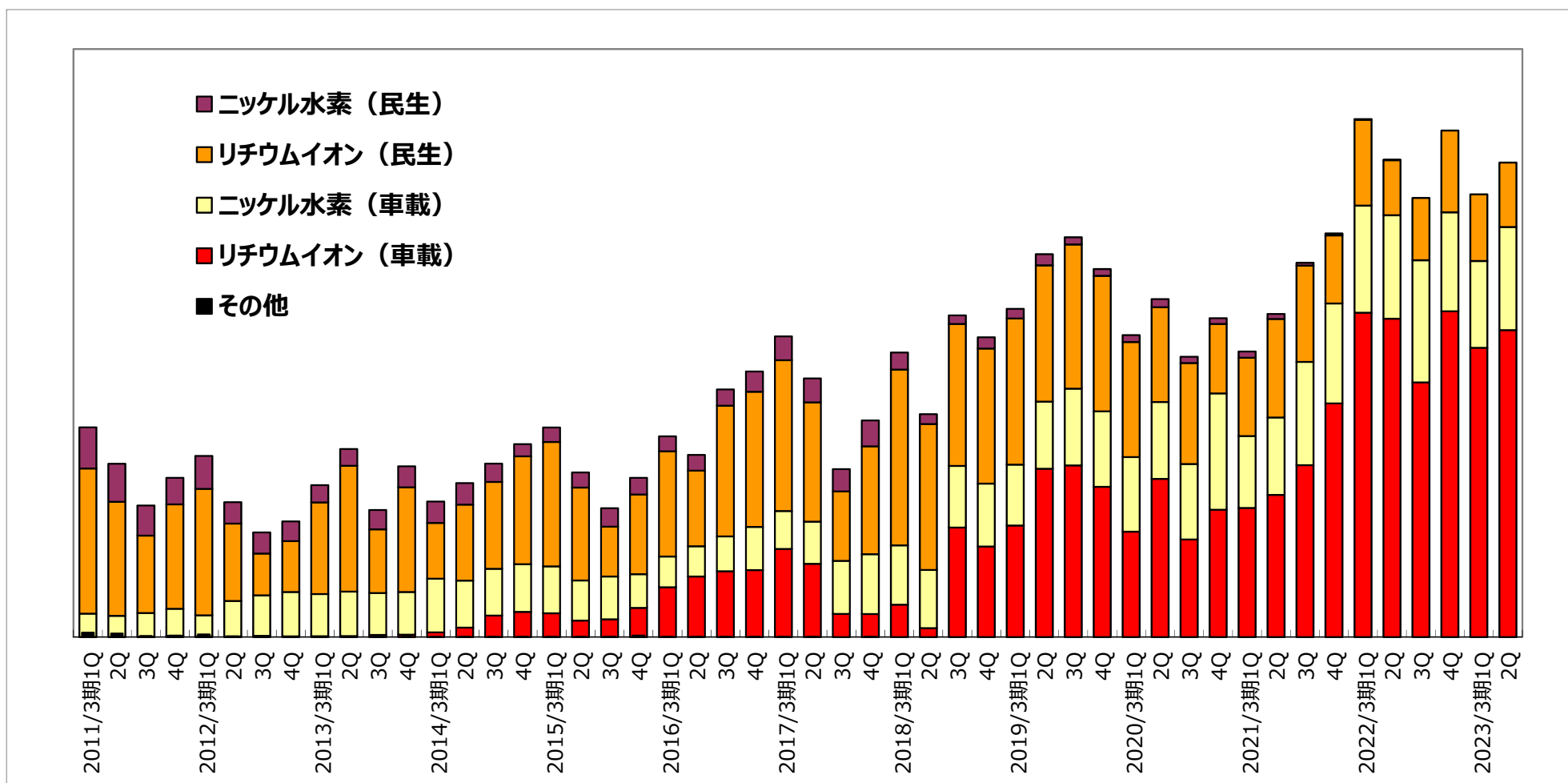
- ・ 2023年3月期第1四半期 売上高5億円 計上

### 3. 製品別販売数量 前年同期との差異要因

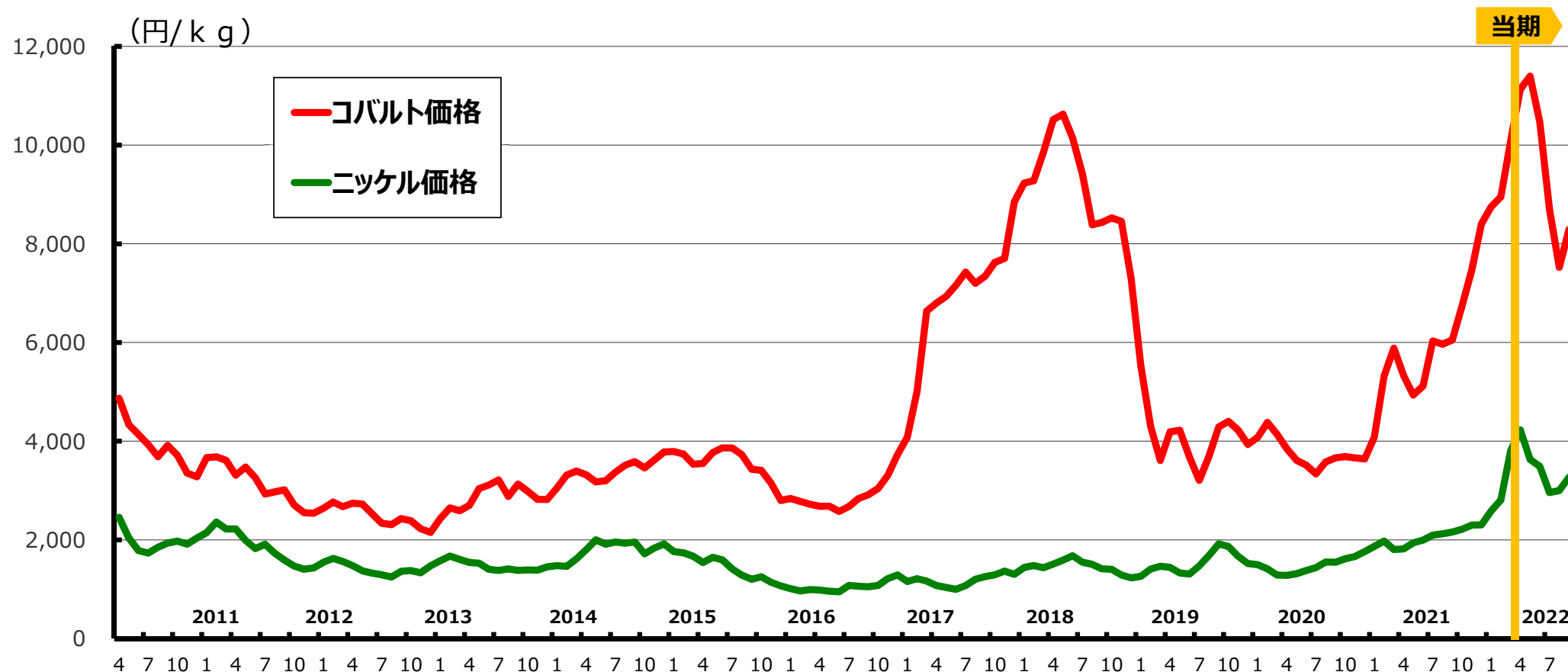
販売量：t		2021/9期	2022/9期	増減	増減率
リチウムイオン	車載	8,746	8,111	△634	△7.2%
	民生	1,916	1,784	△132	△6.9%
	計	10,662	9,896	△766	△7.2%
ニッケル水素	車載	2,863	2,583	△279	△9.8%
	民生	14	—	△14	△100.0%
	計	2,877	2,583	△294	△10.2%
合計		13,540	12,479	△1,060	△7.8%



## 4. 製品別販売数量Q毎推移



## 5. 主原料国際価格推移 (円/kgベース)





## 6. Northvolt (ノースボルト) 社に対する

### 前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結



#### ● 契約概要（締結日：2019年10月15日）

- ・ 前駆体製造技術のライセンス及び技術支援、前駆体販売契約
- ・ 技術支援の進捗状況に応じて、ライセンス / 技術支援料を受領予定

#### ● 契約に基づくライセンス及び技術支援の進捗に応じた売上高

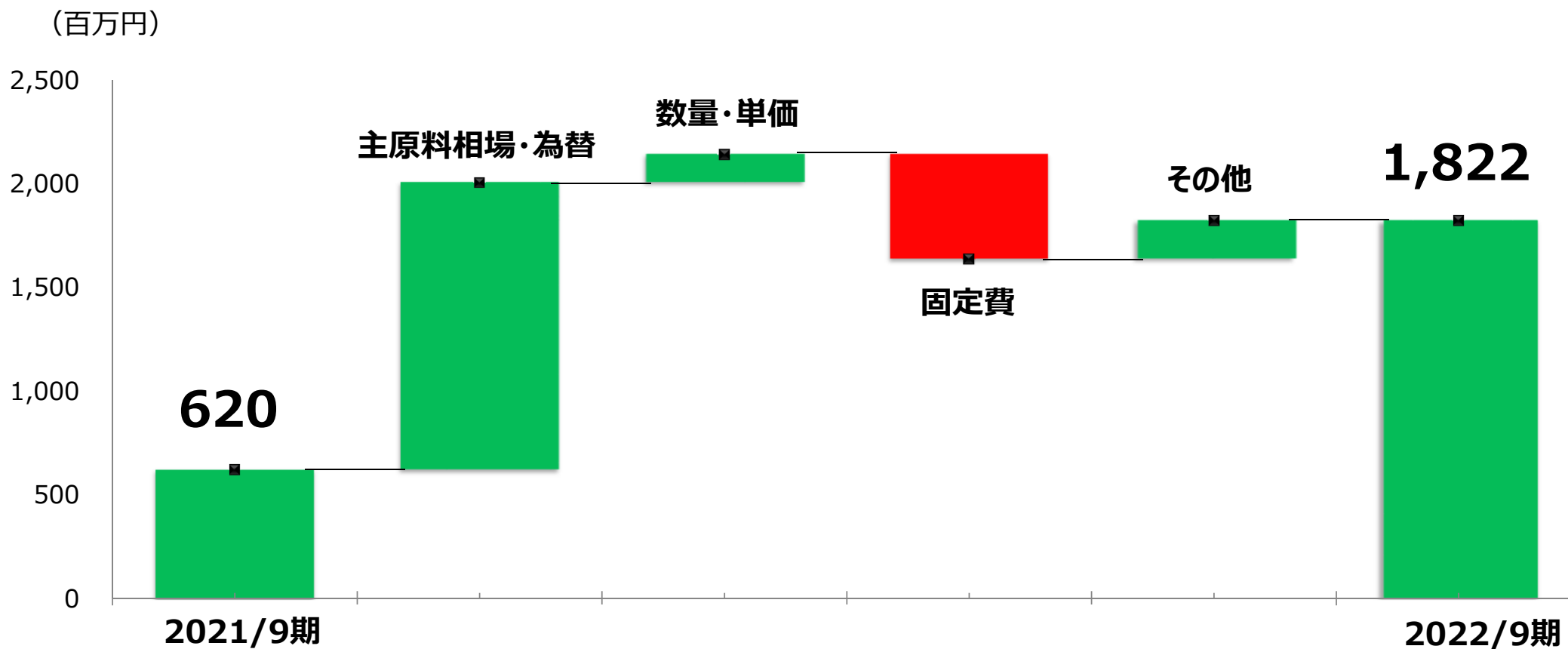
時期	金額
2021年3月期	10億円
<b>2023年3月期第1四半期</b>	<b>5億円</b>

#### ● Northvolt 社の概要

Northvolt 社は、車載用途を中心に次世代リチウムイオン電池の量産を目的として設立

- ・ 名称 : Northvolt Ett AB ( Stockholm, Sweden )
- ・ 事業内容 : リチウムイオン電池の製造販売
- ・ 大株主 : Northvolt AB
- ・ WEBサイトアドレス : <https://northvolt.com/>

# 7. 営業利益 前年同期との差異要因



## 8. 営業外収支および特別損益

金額：百万円	2021/9期	2022/9期	増減
営業外収支	△ 33	△ 176	△ 143
金融収支	△ 38	△ 37	+1
為替差損益	6	△ 101	△ 107
その他	△ 1	△ 37	△ 36
経常利益	587	1,646	+1,059
特別損益	△ 0	2	+2
税引前四半期純利益	586	1,648	+1,061
法人税等	89	154	+64
四半期純利益	497	1,494	+996

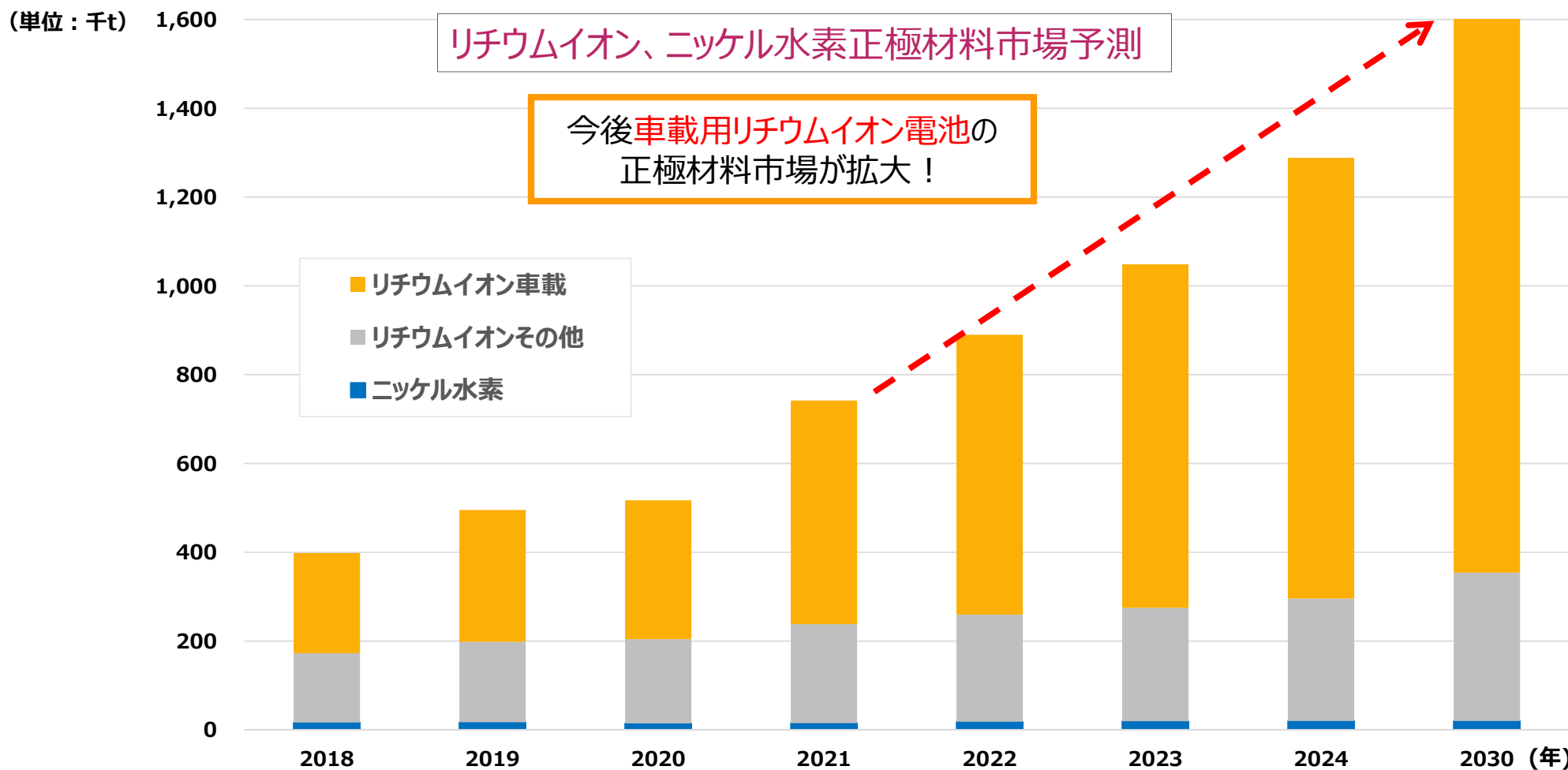
## 9. 比較貸借対照表

金額：百万円	2022/3期	2022/9期	増減	金額：百万円	2022/3期	2022/9期	増減
流動資産	17,950	18,934	+984	流動負債	14,727	14,265	△ 461
現預金	1,303	3,696	+2,392	仕入債務	8,918	9,984	1,065
売上債権	8,797	7,322	△ 1,474	借入金	3,800	3,000	△ 800
棚卸資産	7,383	7,888	+504	その他	2,008	1,281	△ 727
その他	466	28	△ 437	固定負債	10,930	10,165	△ 765
				借入金	10,800	10,050	△ 750
固定資産	21,067	20,350	△ 716	その他	130	115	△ 15
有形固定資産	20,862	20,180	△ 682	負債合計	25,657	24,430	△ 1,226
機械装置他	13,767	14,129	+362	資本金	9,155	9,155	—
土地	1,433	1,433	—	資本剰余金	6,662	6,662	—
建設仮勘定	5,661	4,616	△ 1,044	利益剰余金	△ 2,480	△ 985	+1,494
無形固定資産	6	8	+2	自己株式	△ 2	△ 2	△ 0
投資等	198	162	△ 35	その他	24	24	+0
				純資産計	13,360	14,854	+1,494
資産合計	39,018	39,285	+267	負債純資産合計	39,018	39,285	+267

# 10. キャッシュ・フロー計算書

金額：百万円	2021/9期	2022/9期	増減
税引前四半期純利益	586	1,648	+1,061
減価償却費	780	950	+169
運転資本による資金の増減	20	2,035	+2,014
その他	951	580	△ 371
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,339	5,214	+2,875
有形固定資産の取得による支出	△ 1,672	△ 1,358	+313
その他	△ 3	△ 2	+1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,676	△ 1,361	+315
フリー・キャッシュ・フロー	662	3,853	+3,190
短期借入金の純増額	500	△ 800	△ 1,300
長期借入金の返済による支出	△ 750	△ 750	—
その他	△ 1	△ 38	△ 37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 251	△ 1,588	△ 1,337
現預金等換算差額	△ 10	127	+138
現預金等増減額	400	2,392	+1,991
期末現預金残高	2,930	3,696	+765

# 11. 今後の正極材料市場動向



出所：富士経済「2020 電池関連市場実態総調査 下巻：電池材料市場編」による 当社推察

## 12. 技術開発の方向性

ミドルニッケル  
NCM

ハイニッケル  
NCA・NCM

コバルトレス  
(フリー)化

ニッケルレス化

- 要素技術を製品に適用
- 顧客・用途毎にカスタマイズ  
(HV/PHV/EV/全固体...)

要素技術	ターゲット
粒子形態・粒径制御	高エネルギー密度
粒度分布狭幅化	耐久性
空隙付与 一次粒子微細化	高出力化 耐久性
プロセス開発	低コスト化

# 13. 中期ビジョン

## 二次電池向け材料市場で 存在感を示す企業





# 14. 2023年3月期 業績予想

金額：百万円	2023/3期		増減	2022/3期 実績
	前回発表 予想	今回修正 予想		
売上高	70,000	60,000	△ 10,000	40,531
営業利益	△ 600	1,600	+2,200	825
経常利益	△ 700	1,400	+2,100	769
当期純利益	△ 700	1,000	+1,700	731

※上記の予想については、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績等は予想値と異なる場合がある。  
※当期末までの期間においてニッケル及びコバルトの国際相場や為替相場が当第2四半期末と比較し、大きな変動がないことを前提とする。

# 15. 製品別販売数量予想

販売量：t		2022/3期	2023/3期	増減	増減率
リチウムイオン	車載	16,645	17,700	+1,054	+6.3%
	民生	3,875	3,000	△875	△22.6%
	計	20,520	20,700	+179	+0.9%
ニッケル水素	車載	5,868	7,100	+1,231	+21.0%
	民生	14	—	△14	△100.0%
	計	5,883	7,100	+1,216	+20.6%
合計		26,404	27,800	+1,395	+5.3%

# 付属資料

## 16. 業績を見る注意点

$$\begin{aligned} \text{売上高} &= \overbrace{(\text{主原料国際価格} + \text{加工単価})}^{\text{販売単価}} \times \text{販売数量} \\ &= (\text{主原料国際価格} \times \text{販売数量}) + (\text{加工単価} \times \text{販売数量}) \end{aligned}$$

利益に関係なく増減

利益の源泉  
(加工収入)

1. 販売単価は、原則として主原料国際価格にスライドする。  
従って、売上高は主原料国際価格の変動により利益に関係なく上下する。
2. 利益は「加工単価」と「販売数量」の積である加工収入にリンクしている。
3. 「加工単価」は製品の鮮度、技術的な革新性、工程の複雑さなどによる。

